

昭和52年5月25日 第3種郵便物認可 令和元年6月11日発行（毎月1回10日発行）

円 福

世界の円満
人類の福祉

THE ENPUKU

6月

2019 No.465



世界法民連帯 円福友の会

円福友の会入会のすすめ

1食1円のSABA運動で世界の平和に尽くしましょう。

SABAとは、禅寺の僧堂でお食事の前に、七粒ほどのご飯をお膳のすみに取っておき、後で小鳥に施す「生飯(さば)」というお作法のことです。

これを日本の皆さんの1食1円のSABAとして、アジアの貧しい国々の子ども達のために学校建築(教育)や、井戸やトイレの設置(環境衛生向上)を支援する、国際ボランティア資金の運動です。1食1円ならどなたにもできます。塵も積もれば山となるように、皆さんの御協力をお願いする大きな愛の運動です。(この運動は、特定の政党や宗教や思想に関係のない、非営利の国民運動です。)

綴じ込みの郵便振替用紙を使い年会費やSABA運動等の協力金をお送りください。お送りいただいた皆様には毎月『圓福』と『おもしろい』をお送りし、円福友の会の活動と円福寺愛育園の子どもたちの様子をご報告いたします。

表紙の写真

カンボジア事件のご遺族の奥様に1万ドルをお渡ししました。

奥さまの両脇には4人のお子さまがいます。

今後の生活の役に立てて欲しいと願います。

そして、私たちの応援が奥さまやお子さまに届くことを願います。

6月号の内容

| | |
|-----------------------|------|
| にこにこ法話 奥さまの涙 | 1 p |
| カンボジア支援 遺族訪問 | 4 p |
| 長野俊英高校生徒会からのお見舞金 | 11 p |
| 教育随想 授業 | 12 p |
| タイスラム奨学生支援 奨学金授与式2019 | 14 p |

五月十六日午後五時に、ご遺族のお宅を訪問して、奥様にお見舞金一万ドル(前回お渡ししたものと合わせると一万一千ドル 日本円で1,237,510円)をお渡しすることができました。

キムさんのお宅での交流に時間がかかって、ご遺族のお宅へは一時間ほど遅れて到着しました。その家はシエムリアップから二十分ほどのところに一軒だけばつんと建っていました。バスを降り

ると家の入口に十人ほどの人が集まっています、奥さんと三人の子どもは正装して別の十人ほどの人とともに50メートルほど離れた道路の角まで出迎えてくれました。写真で見えていたので、その人はすぐ分かりました。

中に入ると部屋には祭壇が作られて、親戚の方か近くの方かわかりませんが、一五名くらいの方が狭い部屋で待っています。

ました。私達十六名が入ると小さな部屋はぎっしりと埋まりました。

三名のカンボジアのお坊さんが黄色いお衣をつけて祭壇の前に横向きで並んでいました。日本のお坊さんですと紹介されて、私が参会者に聖水をかけて、ご供養のお経を読みました。それからカンボジアのお坊さんのお経です。集まった尼

奥さまの涙

さん(白い着物を着た長老の女性)や在家の皆さんとお坊さんがお経をかけあう

ことから、始まりました。お経の間に最長老のお坊さんが聖水を、次のお坊さんが花びらを散華して参会者を清めました。三人のお坊さんの、揃ったリズム感のあるお経が部屋にこだましました。

儀式が終わって、奥さんにお見舞金を渡しました。

キムさんの通訳でお悔やみを伝え、お見舞いの心を伝えると、厳しい顔つ

ニコニコ法話



きだつた奥様の目にうつすらと光るものが見えました。帰り際に小さな声で「オーくん」と言ってくれ、並んで写真を撮ろうと勧められました。

奥様には、十九歳、十二歳、八歳の男の子と三歳の女の子がいます。奥様はシエムリアップで屋台のラーメン屋さんをやっています。毎日のもうけはどのくらいなのでしょう。上のお兄さんは障害があつて働けません。下の二人の男の子の学費がかかります。小さな女の子もいます。一人で子どもたちを養い、学校を卒業させ、自立させなければなりません。ご主人が殺された保障はありません。悔しさと、悲しみと、一人で家庭を背負う将来の厳しさを思うと、同情の念を抑えられませんでした。

タクシーの車は、銀行から16,000ドルを借りて三ヶ月ほど前に購入したばかりでした。事件の折に犯人がトラクターや電柱にぶつけて、大破しています。家に運転できる人はいませんので、9,000ドルで売却したそうです。でも、7,000ドルの借金が残っています。日本総領事やサッカーのアンコー

ニコニコ法話

ルタイガーチームの寄付によって、一部補填できたと聞きました。円福友の会の見舞金は、その補填とともに子どもたちの養育費に役立てて欲しいです。

円福友の会は校舎建設のほかに、エコ村の支援をしています。エコ村はカンボジアの中で、最も貧しい村です。学校や村人に井戸を寄贈し、学校農園をつくり現地の人が先生になつて農業を教え、現地の力を引き出した水と命と農業支援を行つています。現地コーディネーターはソファット氏です。今後のエコ村支援について彼と膝を詰めて話すことも、大きな目的でした。彼は一六日の朝、ホテルに来てくれました。

しばらくして、彼の仕事の話になりました。彼は記事を書いてニュース社に売って生計を立てています。それを聞いて、今日の四時にカンボジア事件の遺族のお宅を訪問してお見舞金を渡す

<http://m.freshnewsasia.com/index.php/en/localnews/122038-2019-05-16-13-17-43.html>

から、それを記事にしてくれないかと頼みました。彼は、約束通り FRESH NEWS 社の記事にしてくれました。

ネットを使える方は上記を開いてください。

クメール語の説明は読めませんが、写真で雰囲気を知っていただけると思います。

記事には、「いいね」や「コメント」ができます。カンボジア人は日本人を称賛してくれました。とっても嬉しく思いました。

一七日の二度目の打ち合わせ中に、別のニュース社から電話取材を受けました。こちらはもっと大勢の人が読みます。ニュースはネットで拡散します。円福友の会のお見舞が、カンボジアの大勢の人々に日本人の心として伝わると嬉しいです。

カンボジア支援

遺族訪問



日本人によるタクシー運転手強盗殺人事件のご遺族を訪問した時の様子を写真でお伝えします。

その家は、バスが入れる道から50メートルほど奥にありました。バスを降りると奥さまと子どもが出迎えてくれて、玄関まで案内してくれました。写真は玄関のご挨拶です。

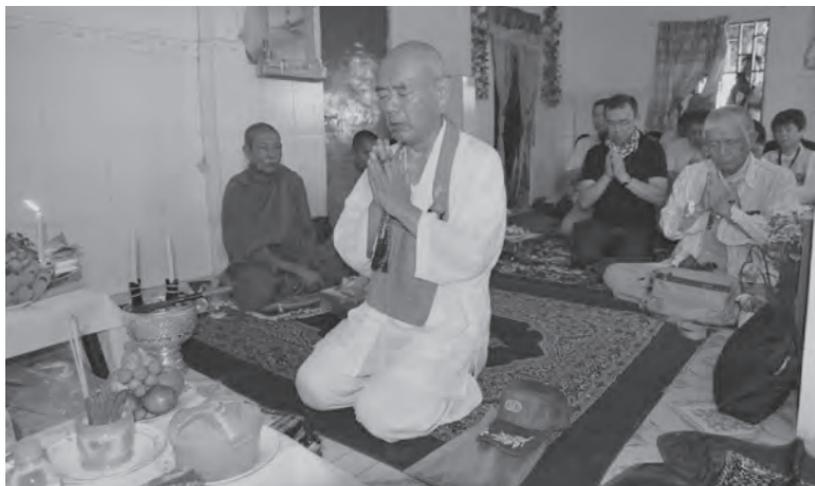


玄関で日本からのお土産（お饅頭）を差し上げました。奥様の右側は四人のお子さまです。

最初に私がご供養のお勤めをさせていただきました。お洒水をと洒水子をもちました。左が二つの祭壇、向こうにカンボジアのお坊さんが三名写っています。



お洒水をすると、皆さまが手を合わせてくれました。



ご主人の祭壇の前で日本のお経（大悲心陀羅尼）をよみご供養しました。今思うと、般若心経をみんなでよむのが良かったかな。般若心経をよめる檀家の人も、坐禅会の人もおりましたので。



私の前の長老の方が、カンボジアのお坊さんにお経をお願いしています。



部屋の全体の様子です。祭壇は二つありました。部屋のなかの右側の壁のところにカンボジアのお坊さん。手前が日本からの参加者左側に尼さんを含めたカンボジアの皆さんがいました。



祭壇です。お亡くなりになられたご主人の遺影が見えます。右側はお釈迦さまを祀っております。



カンボジアのお坊さんがお帰りになってから、お見舞いの言葉を申し上げました。『このたびの、日本人がご主人を殺して事件について、私はたいへん心を痛めています。心よりお見舞い申し上げます。これは、約200名の日本人からのお見舞金1万ドルです。ご主人を亡くされた心境を思うと言葉がありませんが、どうか子どもたちのために頑張っていたいただきたいと思います。』

奥さまの近くに身を寄せて、眼を見ながら静かにこう話すと、キムさんの通訳で聞いていた厳しい表情の奥さまの眼から涙が溢れました。お話して、お見舞金をお渡ししました。



お話が終わって外に出ようとする時、奥様が冷やしておいてくれたコナッツジュース（コナッツのへたを切って、そこにストローを刺して、なかのジュースを飲みます）をそれぞれに渡してくれました。冷えたジュースは、心にしみわたりました。



奥さまを励まして帰途に就きました。今はどうしているでしょうか。子どもたちのためにがんばって欲しいです。

お見舞金を寄せてくださった、188名の皆さま、ありがとうございました。

お見舞金の会計は以下の通りです。

| | | |
|-----------|-------------------|-------------|
| 収入 | 188名より | ¥ 1,403,533 |
| 支出 | | ¥ 1,446,875 |
| 内訳 | | |
| 5/10 | ご遺族へ 10,000 \$ | ¥ 1,126,600 |
| 4/18 | ご遺族へ 1,000 \$ | ¥ 110,910 |
| 支援のための諸費用 | | |
| 3/25 | キムさん遺族訪問交通費等 | ¥ 5,545 |
| 3/25 | 1000 \$送料 | ¥ 4,000 |
| 4/24 | 広告料 スマイル | ¥ 20,000 |
| 5/9 | 広告料 アドビューロ(信毎全県版) | ¥ 142,020 |
| 5/9 | 広告料 市民新聞 | ¥ 37,800 |
| 残額 | 円福友の会より | ¥ - 43,342 |

カンボジアへ信州から見舞金

長野の団体 邦人容疑者による殺人事件遺族に



カンボジアで起きた殺人事件の被害者遺族を訪ね、別れ際に遺族の手を握る藤本さん(右から2人目)ら＝16日(円福友の会提供)

カンボジアなどの学校建設を支援している長野市のボランティア団体「円福友の会」

の会長で円福寺(長野市)住職の藤本光世さん(右)らがこのほど同国を訪れ、3月に起

きた日本人容疑者による殺人

事件の被害者遺族に見舞金112万円余を手渡した。見舞金は県内を中心に187人から寄せられた。「日本人として心を痛めている」と伝えた藤本さんに、遺族は感謝の言葉を述べたという。

事件は、世界遺産のアンコールワット遺跡群があるシエムレアプ近郊で発生。借り上げた乗用車の運転手を殺害したとして日本人の男2人が逮捕された。学校建設支援の縁でカンボジアに人脈のある藤本さんは、遺族の悲しみを少しでも和らげたいと見舞金を募り、長野俊英高校(同)の生徒会からも寄付があった。

今回、藤本さんをはじめ会員ら16人が17日まで4日間の日程で同国を訪問。支援する小学校の建て替え予定地の視察に合わせ、16日にシエムレアプの遺族宅を訪ねた。

被害者の妻と8〜19歳の3人の息子、3歳の娘に迎えられた藤本さんは、遺影が飾られた祭壇の前で読経。

「大変かもしれないが、子どものために頑張ってほしい」と言葉を掛けた。厳しい表情だった妻の目からは涙があふれ、別れ際には手を合わせて「オーケン(ありがとう)」と小さな声でつぶやいたという。

「カンボジアに校舎を建てる支援をしているのに、日本人が逮捕された事件に知らんぷりはできなかった」と藤本さん。被害者の妻は屋台で麺料理を売って生計を立てているといい、見舞金は「子どもたちの育成のために使ってほしい」と願っている。

長野俊英高校生徒会からのお見舞金

長野俊英高校は、キムさん訪日の折に生徒会役員との懇談会を開いてくださり、カンボジアの歴史と現状について学んでくれました。

そのご縁で、今回の遺族訪問に際し生徒会が生徒にお見舞金を呼び掛けて、毎日昇降口で募金活動をしてくださいました。その合計金額12,204円を高橋生徒会長から頂きました。長野市民新聞の取材に高橋颯希生徒会長は「日本人による犯罪に胸が締め付けられる思い」と話しています。

長野俊英高校からはこのほかに32,500円をいただきました。ありがとうございました。写真の左は、窪田校長先生です。





教育随想 心の教育



授業

金鷄祭のお話に入る前に、授業の様子やクラスカラーについて書いてくれたものを掲載します。34年前を思い出して懐かしいです。

今日は日本史の授業がなかったのだからたいへん苦痛な一日だった。社会科の藤本光世と謳われている「ガッツ征矢」先生の授業は大変素晴らしい。黒板の往復回数では数学の矢沢先生に引けを取らない。声の大きさでは英語の千葉先生をはるかに上回る。一、二年の社会の授業は居眠りの時間だっただけに、真面目に授業を聴くととても疲れる。

今日、千葉先生から全員に配られた進路のプリントの中に「昔の生徒は学校で販売される問題集を二冊買ったもんだ」という所があったが、だからと言って今の生徒を悪く見てもいいわけではない。確かに昔より学習時間の減っているのは本ただけど、学校に問題集を指定する権利があるのだろうか？生徒の中には自主的に学習している人も多いはず。自分に合った参考書を探して、それをやっている人もいます。一冊でも終わらせるのに大変なのに学校の指定の本をやって手を抜くのは結局全部潰れてしまうハメになるのです。良い本が見当たらない

い人にだけ学校で本を紹介するというような、ある程度の自主性を持たしてくれてもよいのではないかと英語科の先生に言いたいが、在学中に言っても笑われるだけなのでやめておこう。

Yの言う通り征矢先生と藤本先生は大変よく似ていると思う。教室へ入ってくるときのあの「ぎよろっ」とした目つき、それで人をにらめつけてあいさつをする点など。

皆も述べているが征矢先生の授業は実に凄い。ものすごい気魄で迫ってくる。特に、暑い日の午後とかになると、裸足に草履で登場し、いきなり冒頭から「眠らないようにしろよ いいか！」と気合を入れられる。前にプリントの宿題を出した時も、「オレはなあ、休みの日に学校へ出て来て問題作ってんだぞ！」とまさに教師と生徒が生きるか死ぬかの闘いをしているという感じがした。(多少の誇張をご了承ください。)

先生が「八組のクラスカラー」についてお書きになつていたので、ちよつと考えてみました。私たちの学校の中で、八組のようなクラスは他にないと思う。なんかあつたかくて、全然心配しなくてよくて、安心できる。三年になつて文系なんかで、一組や九組と一緒にになると男子がこわいんです。八組の男子は全然こわくない。おとなしい人が多いせいかもしれないけど。うん、でもおとなしいっていうのとはちがうんだよね。いやな方向にむいていないというか…。特に派手でもないし、そのせいで気おくれすることもない。

八組にいと、自分を持つていられるような気がします。私つてわりと人に影響されやすくて人のことが気になつちゃう方だから、うーんやつぱり八組がいいですね！。

と、おもいっきり よいしょ！ してしまった。

5月10日、2019年の奨学金授与式を開催しました
おかげさまで今年も1300人が勉強に励めます！



タイ・スラム奨学生支援 6月号

奨学金授与式2019

ドゥアン・プラティーブ財団は5月10日、クロントイスラムにある財団本部で2019年の奨学金授与式を開催しました。式典には各界の教育関係者の方々のほかバンコク在住の「教育里親」の皆さま、すでに卒業して立派な社会人になっている先輩たち、住民代表ら約320人が参加され、奨学生たちを励ました。

日本を中心とする「教育里親」の皆さま方のご支援で、今年は小学生から大学生まで全部で1300人の児童・生徒・学生たちに奨学金を支給することが叶い、地方の貧しいスラム等で勉強に励む61人にも奨学金を贈りました。

この日の授賞式は、かつて自らも奨学生だったバイオリニストのワリン・アートウイライ氏が率いるエマヌエル・ストリングオーケストラの記念演奏で開会。団員10人のうち5人もいま財団の奨学生で、懸命な演奏に出

席者の方々も熱心に聞き入っておられました。

ついで各段階の学校での成績が4点満点中3・5以上を取得している奨学生73人を「成績優秀者」として表彰。また奨学生の中で、日々貧しく困難が多い暮らしの中でも地域のボランティア活動に精を出したり、身体が不自由な親の手助けをしながら勉強を続けている子どもたち、今年大学を卒業した計27人にも「社会貢献賞」、「親孝行賞」などを贈って



励ましました。

一方、今年は、30年以上にわたって財団を支援していただいている「天台宗一隅を照らす運動総本部」の創立50周年にあたり、比叡山で行われる記念式典に招待されているクロントイスラムの奨学生3人の高校生も紹介されました。記念式典には財団が運営する『生き直しの学校』の生徒で同じく同本部の奨学金を得て学んでいる中学生3人も参加します。

なお今年も現在、タイ国立マヒドン大学医学部6年生のサバンユー君が奨学生の先輩代表として後輩たちに「励ましの言葉」を贈りましたので、紹介します。



私はクロントイスラムで育ち、中学校の時からドウアン・プラティープ財団の奨学金を貰って学び続けて来ました。そしていつも三つの事を心がけて来ましたので、それをお話しします。

奨学金で学ぶ君たちへ

「学べるチャンスを逃すな！」



マヒドン大学医学部6年 サパンユー・プロムマー

一つ目は、他人と比較せずに、自分のペースで学び続けることです。誰がトップだとか、誰がよく出来るかではなく、自分が本当に必要と思う知識を得ることを心がけてここまで学んで来ました。

二つ目は、勉強や家庭の問題に直面したら一人で悩まずに相談する人を見つけて下さい。財団の教育里親部のスタッフの皆さんもいつでも皆さんを迎えて相談に乗ってくれます。きつと自分にふさわしい歩み方が見つかり、さまざまな困難を乗り越えて行けます。

三つ目は、何よりも奨学金を受けることが出来るチャンスを逃してはいけません。そして、こうして得られたチャンスに常に感謝の気持ちを持って学び続けていきましょう。君も、私も一緒に学んでいるのです。



円福友の会・SABAスクール

愛の日の丸 SABA運動

カンボジア小学校校舎建設

カンボジア エコ村支援

タイ スラム街奨学生支援(教育里親)

大災害被災地支援

シャンティ国際ボランティア会協力

おもいやりの会(愛育園児童自立支援)

太平観音堂護持発展

円福友の会入会のすすめ

上記の協力金は 郵便振替 00520-7-16256

加入者 円福友の会 あてに御送金下さい

〒388-8005 長野市篠ノ井横田 円福寺内

TEL 026-292-0381

FAX 026-293-9629

<http://ryu-enpukuji.com/tomonokai/>

enpuku2@janis.or.jp